

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス 見附わくわくフレンズ
------	-----------------------

公表日 2024年9月25日

利用児童数 2024年9月25日 現在

回収数 23名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	6		1	正直もう少し広かったらよい。 個室がしっかりあるのは安心。	施設内はあまりスペースがないため、なるべく晴れている日は外へ出て思い切り遊べる時間を設けています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21			2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22			1	こどものしたいことを分かりやすく配置してある。	バリアフリー化に関しては経費の問題もありなかなかできていないため、今後検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23				清潔感があると思います。	新しく戸棚を購入し、おやつ棚や物品の棚など、必要なもの以外は収納しておくように心がけています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23				こどもの成長に合った支援だと思う。	職員全員が資格を持っているため、会議をしながら個々に合った支援を心がけています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23				こどものことをよく見て下さってその日の計画に対しても連絡帳で教えてくれる。	定期的な児発管との面談の実施だけでなく、職員全員が送迎時の保護者様との会話の中で必要な支援を考えています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21			2	移行支援がよくわからない。	令和6年度の法改正後、まだまだ浸透していないことも知れたのでわかりやすく説明できる機会を設けたいと思います。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23				こどもの特性に合った支援をしてくれている。	利用者さんのニーズを聞き、整理したうえでより良い支援ができるようにしています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	5	1	7	必ずしも必要とは思わない。 児童館との関わりは分からないが、学童と違い、違う学校の友達がいる。 障がいのある子どもとどう接しているのか普通の子は戸惑うと思う。実現はなかなか難しいのではないかと思います。	事業所側としても大きい集団よりもまずは施設内の小集団の集団活動ができるように心がけています。 ですが、少しの時間でも他の事業所同士の関わりが今後できるように設定していきたいと思っています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	3		4	研修会自体が行われていないのではないかと。実施する時は参加したい。	なかなか研修会という項目ではできていないため今後実施していきたい。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1			お迎えの際などにアドバイスをもらえてありがたい。	必ず半年1回の面談、保護者様の要望や相談には時間を設定し、面談ができるようにしています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23					

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22			1	他の保護者に話を聞いたり、きょうだいで一緒に参加できるイベントがあり楽しかった。 きょうだい同士の支援の機会はあまりない きょうだいで参加できるイベントがある とよい 保護者会で同じ境遇の人と話ができてリフレッシュできた。	今年度も、保護者様やご家族も参加できるイベントを夏に開催しました。 今後も楽しいイベントを開催できるよう職員も計画を作っていきます。 また、保護者会につきましても、平日と休日に一回ずつ行い、保護者様が参加できるようにしました。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1			相談などを聞いてくれて話をしやすい環境を作ってくれている。	面談の際に、放デイ以外のサービスや今後の就労や過ごし方についての話をするようにしています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23					お迎えに行ったときに話をすることにより情報共有ができていと思う。 LINEありがたい。	LINEを作成することで、外活動の際でも気軽に保護者の方との連絡が取れています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22			1		インスタの更新がもう少し多いと嬉しい。インスタで子どもたちが何をしているかわかってよい。 長期休み後に写真や動画をまとめてアルバムを作ってくれるので楽しみにしている。	インスタグラムでは、日々の活動やプログラミングの様子を掲載できるようにしています。 LINEのアルバムに思い出として残すようにすることで、より保護者様にもわくわくの様子が伝わっていればよいと思っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			1		顔や持ち物などSNSに載せるときも隠してくれるため配慮されている。 保護者会時に、鍵付き戸棚に保管している説明を受けた。	個人が特定できる用紙に関しては外から見えないファイルを使用しています。また、SNSの掲載に関しては顔だけでなく、持ち物や服の名札、ホワイトボードに記載してある個人的な情報などもすべて配慮して掲載しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1		3	災害や事故防止は知っているが防犯マニュアルなどがわからない。	マニュアルの完全な周知ができていなかったため、保護者会時などに説明できるようにしていきます。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1		3	避難訓練の説明はされている。	毎月避難訓練をしています。様々な場面を想定した訓練に加え、実際に消防署に行ったりする実践の訓練にも取り組んでいます。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1		1	お出かけをするときも下見をしてください、安全な場所を選んでくださっている。	長期休みは出かけることがほぼ毎日ですが、初めて行くところは必ず事前に職員で下見をして安全かどうか、トイレが近くにあるか、などを確認してから活動を決めています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23				ケガなどをしたときは写真とともに状況を説明してくれる。	ケガが起きた時は職員間で現状の報告と写真撮影を行い、保護者様へ適切な共有ができるよう心がけています。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23				先生のこと好きで安心して通っていると思う。	おかげさまで常勤については開所時から変わらない職員で行うことができています。既に利用していただいている利用者さんの理解はもちろんです、新しく来てくれる利用者さんにも毎日安心して過ごして頂けてうれしいです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23				楽しんで帰ってきて帰宅後もご機嫌でいる。 口では嫌ということもあるが帰日には楽しかった様子が見れる。 行く日を確認するほど楽しみにしている。 「わくわく大好き〜」と言っている。 また、個別療育ではプログラミングを本格的に始めています。	今年も全員の方から満足していただいている評価を頂き嬉しく思っています。 保護者様には、毎週の下校時刻や学校に送迎車にのることも楽しいと言っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				子どもに合わせた支援をして頂いている。 様々な経験をさせて頂いていて感謝している。 家ではなかなかできない体験をさせて下さりありがとうございます。 たくさん話を聞いてくれて考えてくれるため頼りすぎて負担になってないか不安になるほどです。 夏休みの平日はどこにも連れて行ってあげられず、わくわくでたくさん思い出ができたようです。	わくわくでは、なるべく活動が固定されないように、毎月定例会議をしながら新しいアイデアを出しています。 また、個別療育ではプログラミングを本格的に始めています。 今後も利用者さんを第一に楽しく通ってもらえるような環境づくりをしていけるよう努力していきます。	